



# 希 望

多治見市立笠原中学校  
令和7年度 学校だより『希望』  
最終号 令和8年3月25日(水)発行

## Hope (希望・期待・楽しみ)

校長 熊崎 健一

笠原小中学校開校への歩みも、いよいよ最終段階に差し掛かっています。3月12日(木)には『新校舎完成セレモニー』が執り行われました。市役所や議会、工事関係者、地元関係者が一堂に会して新校舎の完成を祝うとともに、笠原小中学校への期待を共有しました。また、14日(土)には、一般向けの『新校舎内覧会』が行われました。当初の見込みを大幅に上回る約1200名の方が、笠原町内外から新校舎を訪れました。笠原小学校・笠原中学校の児童生徒も多く参加してくれました。中には、ご家族で歩いて新校舎に向かい、通学路を確認するような微笑ましい様子も見られました。子供も大人も口々に「すごい!」「きれい!」「カッコいい!」と驚きの声を上げていました。卒業していった3年生も多く「あー、ここで過ごしたかった!」「また、遊びに来ます!」という言葉が印象的でした。

学校としても、19日(木)に『お試し登校&新校舎見学会』を行いました。小学生も中学生も、集合予定時刻より随分早く到着し、今か今かと開錠を待ち構えていました。真新しいアリーナ(体育館)に全員集合してから学級ごとに見学をスタートしました。新しい教室の椅子に腰かけるだけでも、思わず笑みがこぼれていました。学年によって反応は様々でしたが、一様に4月からの学校生活に胸を躍らせているのが伝わってきました。しっかり見学できたので、4月7日に迷子?が出る心配は無さそうです!



そして、閉校記念イベントのフィナーレとして、23日(月)には『バルーンリリース』を行いました。朝方の降雨にはヤキモキさせられましたが、バルーンリリースを行う頃には、青空がしっかりと顔を出してくれました。穏やかな春の空に、子供たちの新しい学校への希望や期待、ワクワク感を乗せて、約500個の風船が舞い上がっていききました。



このように、閉校に向けた様々なイベントを節目としながら、開校への決意を固めてきました。これで、子供たちが主役となり、ご家族や地域、教職員が一丸となって新たな一歩を踏み出す準備は整いました。ご家族や地域のみならずには、これまでも子供たちをいつも温かい目で見守っていただき、支えていただきました。ありがとうございました。笠原小中学校が開校しても、この町に脈々と受け継がれている「笠原の子は、笠原で育てる」という風土が変わることはありません。これからも、学校教育目標『自立・共生・創造』の具現に向けて、教職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

## 「お世話になりました。」 ~令和7年度末 教職員定期人事異動~

明日が、本年度最終登校日となります。後期終業式・令和7年度修了式・最後の学級活動では、きっと多くの生徒がこの一年間を振り返り、様々な思い出に浸るとともに来年度への希望を膨らませることでしょう。そして、離任式。本年度も、定期人事異動により、何名かの教職員が本校を去ることになります。新聞発表が27日(金)の予定ですので転出者をここでお知らせすることはできませんが、この紙面をもってお礼を申し上げます。「笠原中学校在任中は、お世話になり、ありがとうございました。学校を離れても、笠原の子供たちの成長を切に願っています。」